

平成29年 9月定例会

9月8日から20日まで開催。
29議案と議員提出議案4件が提出され、全議案が認定・可決された。



11月の完成が待たれる新庁舎を
入野芝地区側から望む（9月28日撮影）

平成28年度一般会計決算

黒潮町始まって以来、最大の決算額に 新庁舎や佐賀避難タワー建設などで

●平成28年度黒潮町一般会計決算の認定

○歳入総額

116億5506万円

前年度比で19億4371万円、20・0%の増。

○歳出総額

113億6685万円

前年度比で20億4263万円、21・9%の増となり、平成18年の黒潮町制施行後、最大の決算額となった。

歳入から歳出を差し引いた形式収支は2億8820万円、この内、翌年度に繰り越す事業の財源は1億4610万円となった。また、実質収支額は1億4209万円となり、この内、基金への繰入額を8千万円とし、翌年度への繰越額は6209万円となった。

歳入では、普通交付税が合併算定替から一本算定への移行期間に入り、一般財源総額は減となったが、大型事業の実施などにより国庫支出金、県支出金、地方債はそれぞれ大幅な増となった。

歳出では、義務的経費は、



平成29年3月、高さ25m国内最大級の規模で総工費6億円余をかけて建設した「住民の命を守る佐賀避難タワー」の完成を祝ってのお餅投げの一コマ

扶助費が国の施策の年金生活者等支援臨時福祉給付金により、公債費は緊急防災・減災事業債の据置期間の終了などにより増となった。

投資的経費は、新庁舎建設や、それに伴う都市防災推進事業、都市再生計画事業の実施、さらに佐賀保育所移転などにより、大幅な増となった。その他の経費は、各種事業の増加に伴う臨時職員賃金や委託料の増、ふるさと納税に伴う返礼品等の関連費用の増、

高校生サミット運営経費の増があったものの、地域商品券発行委員会補助金や、積立金のうち、減債基金や建設推進基金、財政支援事業基金が前年度より減となっている。

内容的には、昨年に引き続き、健全な財政運営が図られたものとなったが、町債の借り入れが昨年度の約2倍となっており、今後も、より一層慎重な財政運営を心掛けていかなければならない。

認定（全員）